



NEWS

Fukuoka Foreign Trade Association

福岡貿易会 会員広報誌

発行・編集／社団法人 福岡貿易会
〒812-8505福岡市博多区博多駅前2-9-28
福岡商工会議所ビル7階
TEL.092-452-0707 FAX.092-452-0700
E-mail: info@fukuoka-fta.or.jp

vol.16

特集 福岡貿易会の貿易相談



矢幡 卓美 氏



伊藤 啓輔 氏



石橋 勝彦 氏



木村 寧海 氏



安部 五男 氏



田中 豊 氏



古森 政基 氏



岡林 秀成 氏

CONTENTS

特集	福岡貿易会の貿易相談	1~2P
寄稿	「タイ最新事情」 丸紅(株)九州支社長 實方洋 氏	3~4P
報告	●重慶市との経済交流	4P
	●メキシコの経済概況と環境産業セミナー	4P
	●福貿倶楽部	4P
セミナー報告と今後の予定		5~6P
トピックス	釜山経済協力事務所開所式	裏表紙
企業紹介		裏表紙

特集

福岡貿易会の貿易相談

当会の貿易相談は平成9年7月にスタートし、相談件数も平成9年度の37件から、平成21年度には112件と増加しています。そこで、今回、順次充実を図ってきた当会の貿易相談の推移と現状を紹介します。

相談を始めた平成9年度には、アドバイザー3名、相談日も毎週1回で実施していましたが、平成13年度には、中国ビジネス相談を開設する等新たな相談需要に応じることとしました。平成22年度には、経験豊かな現役の商社社長、通関士の資格をもつ物流のプロ、中国の専門家等8名のアドバイザーの体制をとり、多岐にわたる相談内容に対応するとともに、相談日の充実を図っています。

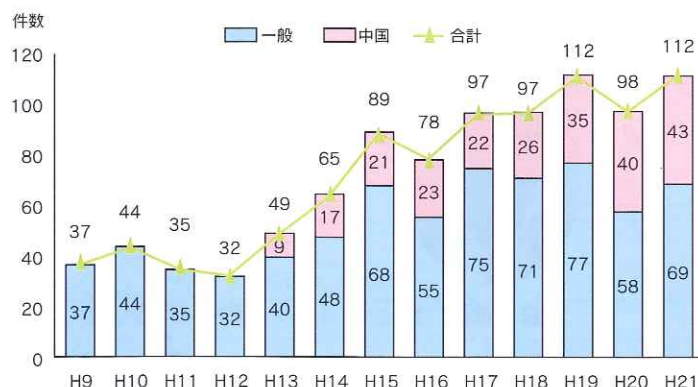
定期的に相談を重ね、その相談内容に応じた専門のアドバイザーの意見を参考に、事業を軌道にのせられている方もおられます。皆様も、お気軽に、専門アドバイザーのコンサルティングを活用してみませんか。

【相談コーナー】

- 相談日：一般相談…毎週水曜日、第2・第4木曜日 13:30～16:30
中国ビジネス相談…毎月第1・第3火曜日 13:30～16:30
 - 相談手続：予約制です。事前に電話でご予約ください。(担当：柴田)
TEL：092-452-0707 FAX：092-452-0700 E-MAIL：info@fukuoka-fta.or.jp
 - 相談料：無料
 - 相談場所：(社)福岡貿易会事務所
福岡市博多区博多駅前2-9-28 福岡商工会議所7F
- その他：電話、FAX、Eメールでの相談も受け付けていますが、原則として貿易相談設定日にご回答いたします。
※アドバイザーのプロフィールは、別紙に掲載しています。

【相談の推移】

貿易相談数の推移

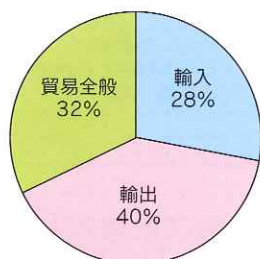


貿易相談内訳

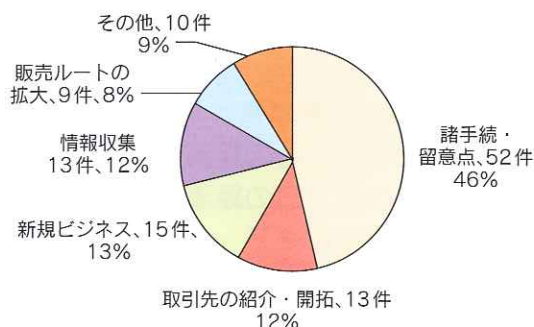


【平成21年度 貿易相談内容の内訳】

種別内訳



相談内訳



- 相談業務の開始当初は輸入に関する相談が70%近くを占めていたが、最近では、輸出の相談件数が輸入の相談件数を上回るようになってきている。
- 貿易の諸手続・留意点についての相談が約半数を占めるが、「はじめて貿易を始めるためのイロハ」から「代金回収トラブル対応」まで相談内容は多岐にわたっている。
- 中国に関する相談件数が増加しており、一般相談日でも対象地域が中国である場合もあり、実質的には平成20年度頃より約半数をしめている。
- 当会の会員にも外国人が経営する企業が増加しているが、相談においても外国人からの相談が1割を超える等増加の傾向が見られる。

【最近の相談事例】

- ✧ 地元の農産品を海外（中国を想定）に輸出したいがどこから手を付けたらよいか。
- ✧ 健康食品を中国に輸出したいが、留意点を知りたい。
- ✧ 原料を中国から輸入し、日本で加工して再輸出する際、関税、消費税等はどうなるか。
- ✧ バングラディッシュから中国へ物品を輸出する場合の三国間貿易について知りたい。
- ✧ EPA 関連の「特定原産地証明」を受ける際の留意点について知りたい。
- ✧ 日本の中古車の海外輸出について。
- ✧ タイから、雑貨、家具などを輸入予定。通関やPL法などの基本的な事を教えて欲しい。
- ✧ 現在中国2ヶ所で自転車を製造し日本に輸入しているが、人件費の増、労働者が集まりにくくなってきているので、ベトナム他での製造を検討したい。ベトナムの状況について教えてほしい。
- ✧ ベトナム向け中古車、中古建機の動向を知りたい。
- ✧ インドから商品を輸入したいが、何か資格が必要か？また輸入方法について教えてほしい。
- ✧ 韓国からのFRP樹脂の輸入について、方法を教えてほしい。
- ✧ タイに機械を輸出するにあたっての手続き等教えてほしい。
- ✧ 日本からの輸出品にかかる韓国での関税率を教えてください。
- ✧ 化粧品を英語圏に輸出したい、輸出先の開拓について

アドバイザー雑感

矢幡卓美 (株)イクス 代表取締役 社長

福岡貿易会のアドバイザーの拝命を13年前に受けて今日まで毎週水曜日に開催の貿易相談を担当してきました。

自らも小さな貿易専門業者として海外との取引を実践している者として、可能な限り「自分だったらこうします」という基本姿勢でご相談にお見えになる人に、自分の失敗経験も含めて接してきました。

また、貿易会社の起業を目指す人には、迷っている背中を押して差し上げるよう心がけてきました。

その結果、数社の起業家が貿易会社として歩み始めました。

海外との取引には、当初の動機、きっかけ、想い、目標、何をしたいなどという「戦略」と、それを実践するための手段、方法、理論、知識などの「戦術」の両面が欠かせません。

戦術の裏付けの無い戦略や思い込みで踏み出すと、多くの場合予期せぬ失敗につながりますし、戦術のみに偏重して戦略無しでは、舵の無い船と同じです。

「戦術力」を高めることは、リスクの予防につな

がることは勿論です。

「戦略」と「戦術」は、車の前輪、後輪の関係に似ています。

過去数十年来繰り返される海外進出ブームが、多くの場合失敗に帰したのは「戦略」「戦術」の一方または双方が欠けていたことに一因があるのではないのでしょうか。

海外貿易の進め方には、これしかないという固定の答えはありません。幸いなことに、福岡貿易会には数十年の海外貿易実戦経験者、金融、物流の専門家、中国を含む海外マーケティングの専門家など長年実戦を積んだ多士済々のアドバイザーがいますので、それを活用して「戦略構築」「戦術強化」に活用して頂きたいと思います。

また、福岡貿易会のアドバイザーの力添えで、貿易会社を志す若い起業家を50社、100社と生み出せたらアジアに向けた中核都市を目指す福岡市が、さらに魅力ある都市になるものと、その実現を夢見ております。

寄稿

タイ最新事情

丸紅(株)九州支社長 實方 洋



私は、33年間の会社人生においてシンガポール5年、タイ国2度で通算7年とアジアで仕事をして来ました。今回の福岡赴任に際しても4月10日、正に軍隊・警察と赤シャツ・デモ隊の大衝突、当日朝にバンコクより福岡に直接赴任してまいりました。本寄稿では、私を知る、感じる場所をお話したいと思います。

福岡では様々な方々から、温和なタイ人が何故過激的な行動に出るのか？国王は何故仲裁をしないのか？などの質問を受けました。最大の理由は、タクシン元首相の出現により、国が分裂したことにあると考えます。同氏はこれまで東北部の農民（人口比率も高い）に代表される社会的弱者に対し手厚い社会・福祉政策を実施することにより票を集めてきました。タクシン氏の出現により弱者が政治的に覚醒したことにより既存権益を持つ保守派/都会のエリート VS 弱者という構図が公になったわけです。見方を変えるとこれはタイ政治の民主化への避けて通れないプロセスとも言えます。今後の展開は、まずは議会解散・総選挙という形で民意を問うこととなりますが、その前後に混乱が再燃する可能性は残っています。これまで、政治の腐敗に対し民衆が立ちあがり、また軍が介入（殆どが無血クーデター）するなど混乱が起る度に国王が仲裁するCaseはありましたが、今回は政治的対立（保守派vsタクシン派）に加え、社会根底にある民衆 VS 民衆の対立構図があり国王が仲裁することが困難であるという事情があると考えられます。

早く「微笑みの国」に戻って欲しいと願っています。

ここで日本とタイの関係についてご説明します。タイとの貿易は古くは600年程前に琉球王朝が貿易を開始し、またアユタヤ王朝では山田長政が傭兵として活躍するなど長い歴史的関係があります。タイ王室と日本の皇室の関係は長年にわたり友好関係にあり、また近年ではタイに於ける日系企業の進出・貢献が高く評価されています。事例と数字で説明しますと、

①1997年のタイ発のアジア危機の際には、多くの外資が引き揚げましたが、日系企業は辛抱強く居残りタイ経済の復活に貢献しています。

②タイ在留日本人（大使館への登録）は約4万6,000人であり、未登録者など含めると、約7-8万人、日本からの旅行者が100-120万人強で常時10万人以上の日本人がタイに、おります。

③バンコク日本人商工会議所の登録企業数は約1,320社で、そのタイ雇用者人数は65万人です。また、未加入の企業を含めるとタイには約7,000社の日系企業が活動しています。従い商工会議所と直接タイ政

府の間で投資環境整備について定期的に協議する場が設けられています。

④タイに対する海外からの累積投資額の約40%が日系企業によるものです。また、アセアン10カ国にある日本商工会議所への加盟社数は約4,300社でおおよそ30%がタイでの加盟となります。

⑤産業的には、自動車、電器、電子、農産物、食品加工、繊維、運輸の分野で日系企業の存在感が際立っています。とりわけ自動車生産（2008年140万台、2009年100万台、2010年140-150万台）では93%が日系による生産となっています。各社は、日産が「マーチ」の製造を追浜からタイに移管したように、タイを世界戦略車の製造拠点と位置付けています。個人的には、かように自動車に代表される日系企業による製造業の産業集積がタイの最大の強みだと思います。

それでは、タイと日本の政府による産業政策はどこに違いがあるのでしょうか？

①タイは外資の導入による成長戦略を明確にしているため産業政策はSimpleつまり外資に頼らずタイ民族資本だけで新規産業を育成することは困難だと分かっている。

②投資奨励では、投資庁が定める分野での投資に対しては、8年間にわたり法人税を免除。一方、法人税はアセアン内では最も高く30%（シンガポール17%）ですが、他国との外資誘致合戦に負けまいと考え引き下げが検討されている。

③Globalでの貿易・投資に関しては、FTA、EPAが大きな役割を果たします。タイはGDPに占める輸出比率が70%前後で貿易・投資に於いて海外企業との取り組みに最も積極的な国です。2010年1月発効のAFTA（アセアン内FTA）では原材料、製品Tradeに関わる関税が免税・大幅減免となり製造拠点を有するタイが最もその恩恵を受けることとなります。関税が下がるだけで物の流れが大きく変わりFTAを結ばない国同士のTradeは自ずと停滞することになります。

④タイ企業は日系企業との合弁を希望している。アジアではどこでもそうですが、タイにおいても品質・技術などで日本の優位性、Japanese Brandが既に確立しているからです。

翻って日本の産業政策は、急速に進んでいるGlobal化（法人税率、FTA/EPA、投資奨励）に対応できていないように感じます。

Global企業は、自社の存続を賭け、最適生産拠点、市場を求めて、タイのみならず急成長を続けるアジアに、これからも進出が続くと思います。



2009年5月 日本人学校開校記念式典。シリントーン王女御参列



2009年2月 タイゴルフ大会レセプション。石川・谷原選手と

報告事項

☆中国重慶市との経済交流の機運高まる

昨年11月重慶市技術経済福岡駐在事務所の設置や、本年4月の重慶訪問等を契機に九州と重慶との経済交流の機運が高まってきています。9月2日瀬野駐重慶総領事による「日本人から見た重慶最新事情セミナー」開催、14日には福岡商工会議所河部会頭と中国国際貿易促進会重慶市委員会鄒小平会長との業務提携覚書の締結、翌15日は重慶市から余遠牧・重慶市人民代表大会常務委員会常務副主任、中国国際貿易促進会重慶市委員会・鄒小平会長他13名が来福し投資誘致セミナーが開催されました。特に今回は深圳特区、浦東新区(上海)、濱海新区(天津)、に次ぐ内陸部で初めての両江新区についての進出優遇策等についての説明が行われ、セミナー終了後出席者から沢山の質疑応答がなされ関心の高さが窺えました。



9/15 重慶投資セミナー(ホテル日航)



9/2 瀬野駐重慶総領事を囲んで(福岡商工会議所)

☆「メキシコの経済概況と環境産業セミナー」※ジェトロ福岡と共催

- <日 時> 平成22年9月9日(木) 13:30 ~ 15:30
- <と ころ> 福岡商工会議所2F 第2研修室
- <講 師> ジェトロ産業技術部 環境・エネルギー技術課 課長 峯村 直志 氏
- <内 容> メキシコに昨年9月まで4年間駐在していた講師より、メキシコの経済概況や、エネルギー環境産業の現状・日本とのビジネスの可能性について解説いただきました。

※貿易会では、10月31日~11月7日に「北米・メキシコ経済視察団」を派遣する予定です。

☆第9回福貿倶楽部(小規模交流会)

第9回目を迎えた福貿倶楽部は、九州経済産業局の木佐貫国際部長をゲストにお迎えし、「九州地域の活性化に向けて」と題して講話をいただき、その後、会員相互の交流を深めました。情報交換や異業種交流の場として開催しておりますので、お気軽にご参加下さい。

日 時：平成22年7月9日(金) 18:30 ~ 20:30

場 所：IPホテル「Dubhe」

ゲスト：木佐貫純也 氏(九州経済産業局国際部長)

参加者：33名



セミナー報告と今後の予定

報告

●「新人・新任者向け貿易研修会」

【第1部】

<日時> 1部:平成22年6月10日(木)・11日(金)

10:00~17:00

<ところ> 福岡商工会議所2F 第2研修室

<講師> (株)アースリンク

代表取締役・貿易アドバイザー 曾我しのぶ氏

<内容> 1日目:講師著書「貿易実務の基礎がわかる本」
を用いて貿易の基礎を学習
2日目:送金取引のロールプレイ演習



参加者のことばより

*本を読むだけでなく、実際にロールプレイをすることで、物流の流れ、それぞれの役割、必要な書類がどの場面で必要になってくるかなどイメージしやすかった。自分の業種だけでなく、取り巻く役割を知ることが出来たことは有意義でした。

【第2部】貿易施設見学

<日時> 平成22年6月17日(木)09:00~17:15

<ところ> 福岡空港税関・門司植物防疫所福岡空港出張所・
福岡エアーカーゴターミナル貨物ターミナル蔵置場・
博多湾クルーズ・門司税関大型X線検査場・
博多港ふ頭(株)香椎パークポートコンテナターミナル・
アイランドシティコンテナターミナル



アイランドシティコンテナターミナル、
ガントリークレーンの真下より

参加者のことばより

*講義・各施設見学と一通り体験出来、AIRとSEAの施設を見比べる事で両者の違いを考えられる点で非常に有意義でした。このようなセミナーを待っていました。
*実際受講する前は、丸三日費やすのは通常業務から外れることも考えると時間がかかり過ぎと思いましたが、講義を終えてみると、三日とも大変有意義でした。

●貿易英語講座～基礎編～ *ジェット口福岡と共催

“目からウロコ。平易な単語・言葉で相手に伝える”

<日時> 平成22年7月8日(木)・7月13日(火)10:00~16:00

<ところ> 福岡商工会議所2F 第2研修室

<講師> 末次通訳事務所代表 末次 賢治 氏

<内容> 第1回:貿易業務ステップの流れ・説明
第2回:自社紹介/業務紹介の練習



熱のこもった講座

参加者のことばより

*そのまま業務で「これを当てはめてみよう」と思えるフレーズがいくつもあり、先日受講した新人向け実務講座と合わせて非常に有益な内容と思います。
*副詞の使い方、平易な英語表現など大変勉強になりました。早速業務で活かしていきたいと思いました。なかなか聞けない日本人が間違っているポイントなど先生がとても細かく教えて下さって、よい勉強になりました。

●「初めての韓国語会話」

※(社)博多港振興協会と共催

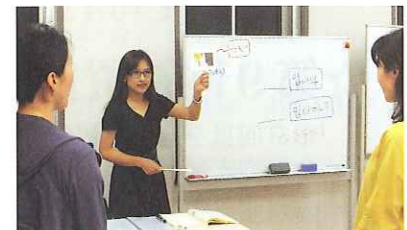
“夜間講座の充実”

<日時> 平成22年5月13日(木)~7月29日(木)19:00~20:30 全12回

<ところ> 西日本ビル905会議室

<講師> 金 真紀 氏

<内容> 初心者を対象に、ハンゲルの読み方から始めて、
簡単な挨拶までの入門編



先生の創意工夫で楽しい講座

参加者のことばより

*記号にしか見えなかった韓国語が意味はまだ分からなくても何となく読めるようになったことに感動です。
*教えられたことは理解できたが、まだ身に付いていない。是非継続した講座を開いて欲しい。→9月27日より続編開講です。

現在進行中のセミナー

☆中国語会話初級編 ※(社)博多港振興協会と共催

“**听・写・看(ting·xie·kan)** (聞いて・書いて・見て)今までにない中国語の修得度”



戦麗華先生の「很好！很好！」に俄然やる気UPです。



冷汗かきかき、皆の前での演習

- <日 時> 平成22年4月21日(水)～10月13日(水)19:00～20:30 全24回
 <ところ> 西日本ビル905会議室
 <講師> 北京・ニーハオ中国語センター 講師 戦麗華氏
 <内容> 全くの初心者対象、ピン音から、簡単な日常会話まで。

参加者のことばより
 *授業のペースもちょうど良いです。当てられるので緊張感があってやる気が出てきます。
 *授業中である「中国コーナー」(中国事情)は、とても興味深く毎回楽しみです。

今後開催予定のセミナー (予定につき変更の可能性があります)

☆貿易英文契約書講座 入門基礎編 ※日本貿易振興機構(ジェトロ)福岡貿易情報センターと共催

- <日 時> 平成22年10月5日(火)10:00～16:00
 <ところ> 福岡商工会議所 2F 第2研修室
 <講師> 国際経営法務コンサルタント中矢事務所 代表 中矢 一虎 氏

☆輸出入金融セミナー

- <日 時> 平成22年10月21日(木)14:00～17:00
 10月26日(火)14:00～17:00
 <ところ> 福岡商工会議所 6F 604会議室
 <講師> (社)福岡貿易会 貿易アドバイザー 木村 寧海 氏

☆食品輸入セミナー基礎編

- <日 時> 平成22年10月27日(水)14:00～17:00
 <ところ> 福岡商工会議所 6F 604会議室
 <講師> 厚生労働省福岡検疫所食品監視課 輸入食品相談指導室長 平井 秀和 氏

☆食品輸入セミナー応用編

- <日 時> 平成22年11月12日(金)14:00～17:00
 <ところ> 福岡商工会議所 6F 605会議室
 <講師> 厚生労働省福岡検疫所食品監視課 食品衛生専門官 谷 拓 氏
 福岡空港 上原 課長

☆外航貨物海上保険セミナー

- <日 時> 平成22年11月17日(水)14:00～16:30
 <ところ> 福岡商工会議所 B1-b会議室
 <講師> 三井住友海上火災保険株式会社 九州本部 九州企業営業部第三課
 主任 井上 仁 氏

☆中国浙江省嘉興港区からの投資セミナー

- <日 時> 平成22年11月16日(火)16:00～
 <ところ> 西鉄ソラリアホテル
 <講師> 浙江省嘉興港区開発建設管理委員会招商局、日系進出企業「トクヤマ」

トピックス

☆釜山経済協力事務所が開設されました


第2回福岡・釜山超経済圏形成協力事業推進委員会が8月9日、福岡市役所で開催され、2010年度重点推進課題の進捗状況等について協議を行った後、福岡・釜山両市の経済協力事務所設置等に関する合意書、両市コンベンションビューローによる実務業務協力協定が締結されました。

8月26日には、この合意書に基づく釜山経済協力事務所の開所式が、市役所14階の同事務所で行われた。開所式後に、両経済協力事務所に設置されたテレビ会議システムを使い、吉田・福岡市長、許・釜山市長が会談を行い、このシステムを今後企業の商談等への活用を通じ、両市の経済交流の活発化等が話題となりました。



事務所の看板を掲げる吉田市長

会員企業紹介

◆会員名	(株)西日本新聞社			 西日本新聞社
◆代表者役職氏名	代表取締役社長 川崎 隆生			
◆所在地	福岡市中央区天神1-4-1			
◆TEL	092(711)5555(代表)	◆FAX	092(711)5188 (アジア室)	
	092(711)5416(アジア室)	◆URL	http://nishinippon.co.jp/	
◆主要業務	日刊新聞(朝刊、夕刊、西日本スポーツ)の発行ほか			
◆当社の特色と会又は会員企業への希望について	海外支局を拠点にアジア報道を行う編集局国際部とは別に、今春、アジア向け事業を展開する企画局アジア室を開設しました。来年10月の辛亥革命100周年に向けて、今秋から全社的なプロジェクト企画「辛亥革命100年～孫文と九州」を展開するほか、韓国・釜山で定期的にフリーペーパー(釜山B1:K1)を発行します。ご期待ください。			

◆会員名	中国東方航空 福岡支店			
◆代表者役職氏名	九州地区総支配人兼福岡支店長 張 文衛			
◆所在地	福岡市博多区冷泉町5-32 オーシャン博多ビル1F			
◆TEL	092-262-2000(代)	◆FAX	092-282-8622	
		◆URL	http://www.chinaeastern-air.co.jp	
◆主要業務	航空運輸業			
◆当社の特色と会又は会員企業への希望について	当社は上海に本社をもつ中国最大規模の航空会社の1つです。福岡から上海へ毎日2便、武漢へ上海経由で毎日1便、青島・北京(青島経由)へ週4便就航しております。そして上海をハブ空港として中国国内各都市、香港、ヨーロッパ、アメリカや昨今成長著しいインド、東南アジア諸国各都市へ豊富なネットワークを有しております。皆様のご搭乗を心よりお待ちしております。			

◆会員名	株式会社ラ・メルシースカンパニー			
◆代表者役職氏名	代表取締役 中山 英敬			
◆所在地	福岡市博多区博多駅東2丁目17-5			
◆TEL	092-415-6730	◆FAX	092-415-6770	
		◆URL	http://www.la-melcys.com/	
◆主要業務	コンサルタント部門・機能性食品部門・通信販売部門			
◆当社の特色と会又は会員企業への希望について	当社主要業務の1つである機能性食品部門では、伝統的にいわれる機能性に依存することなく自社製品原料を厳選・特定し、その機能性について複数の大学との産学連携によって研究を重ね、科学的根拠を備えてまいりました。その原料は、新顔のキノコ：ヤマブシタケです。国内外のお取り扱いくださる販社様のご希望に応じて、錠剤・丸剤・顆粒・カプセルなどの形状で、確かな製品・信頼性が高い製品に加工し納めさせていただきます。OEM供給メーカーとして世の人の健康増進に貢献します。			

福岡貿易会事務所
 〒812-8505 福岡市博多区博多駅前2丁目9番28号
 福岡商工会議所ビル7F
 TEL:(092)452-0707 FAX:(092)452-0700
 E-MAIL:info@fukuoka-fta.or.jp
 ホームページ http://www.fukuoka-fta.or.jp/

上海事務所
 中華人民共和国上海市盧湾区淮海中路398号 世紀巴士大廈9階
 TEL:+86-21-6385-8815 FAX:+86-21-6385-8806
 E-MAIL:fukuoka-city@fukuokash.com.cn

発行・編集/ 社団法人 福岡貿易会
 デザイン・印刷/ (株)西日本高速印刷



この印刷物は自然環境保護のために再生紙を使用しています。また、大豆油インキを使用しております。